

政策展開の基本方向

基本理念

人・産業・地域を結び、新たな時代を生き抜く力強い長崎県づくり

基本理念を実現するための3つの柱

1

地域で活躍する人材を育て、未来を切り拓く

(人材を育て、未来を切り拓く)

2

力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す

(産業を育て、しごとを生み出す)

3

夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る

(希望のあるまちを創り、明日へつなぐ)

基本戦略

①若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る

②移住対策の充実、関係人口の幅広い活用を推進する

③長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる

④みんなで支えあう地域を創る

①新しい時代に対応した力強い産業を育てる

②交流人口を拡大し、海外の活力を取り込む

③環境変化に対応し、一次産業を活性化する

①人口減少に対応できる持続可能な地域を創る

②地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る

③安全安心で快適な地域を創る

施策

- ① 将来を担う若者の就業支援と魅力的な職場づくりの促進 ●
- ② 大学と連携した地域が求める人材の育成と地元定着の推進 ●
- ③ 男女が性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会づくり ●
- ④ キャリア教育の推進と企業を支える人材の育成・確保 ●
- ⑤ 地域に密着した産業の担い手の確保・育成 ●
- ⑥ 医療・介護・福祉人材の育成・確保 ●
- ⑦ 外国人材の活用による産業、地域の活性化 ●
- ⑧ いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現 ●

- ① ながさき暮らしUターン対策の推進 ●
- ② 関係人口との交流促進による地域活力の向上、移住者の裾野の拡大 ●

- ① 結婚、妊娠・出産から子育てまでの一貫した支援 ●
- ② 郷土を愛し、地域を支える心豊かな人材の育成 ●
- ③ 安心して子育てできる環境づくり ●
- ④ 学力の向上と一人一人に対応した教育の推進 ●
- ⑤ グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり ●
- ⑥ 安全・安心が確保された教育環境の整備 ●
- ⑦ 「地域みんなで子どもを育み、家庭教育を支援する」体制づくり ●

- ① 誰もが安心して暮らし、社会参加できる地域共生社会の推進 ●
- ② きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援 ●

- ① 成長分野の新産業創出・育成 ●
- ② スタートアップの創出 ●
- ③ 製造業・サービス産業の地場企業成長促進 ●
- ④ 戦略的、効果的な企業誘致の推進 ●

- ① 地域に新たな価値を付加する魅力ある観光まちづくりの推進 ●
- ② 県産品のブランド化と販路拡大 ●
- ③ アジアをはじめとした海外活力の取り込み ●

- ① 農林業の収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化 ●
- ② 漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備 ●
- ③ 養殖業の成長産業化と加工・供給体制の強化 ●

- ① 地域活動を行う多様な主体が支えあう、持続可能な地域づくりの推進 ●
- ② 地域の活力と魅力にあふれる農山漁村づくり ●
- ③ 地域の医療、介護等のサービス確保 ●
- ④ 離島・半島等のくらしと交流を支える地域公共交通の確保 ●
- ⑤ ICTを活用した地域活性化と行政運営の効率化 ●
- ⑥ 持続可能なインフラの整備及び利活用 ●

- ① 人流・物流を支える交通ネットワークの確立 ●
- ② 九州新幹線西九州ルート of 整備と開業効果の拡大 ●
- ③ 持続可能で魅力ある都市・地域づくり ●
- ④ しまや半島など地域活性化の推進 ●
- ⑤ 特色ある文化資源・スポーツによる地域活性化 ●
- ⑥ 国際交流と平和発信の推進 ●

- ① 犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進 ●
- ② 食品の安全・安心の確保と消費生活の安定・向上 ●
- ③ 災害に強く、命を守る強靱な地域づくり ●
- ④ 豊かできれいな海づくり、くらしやすい環境づくりの推進 ●
- ⑤ 脱炭素社会の実現を目指した快適なライフスタイルの普及 ●
- ⑥ 人と自然が共生する持続可能な地域づくり ●

政策横断プロジェクト

1

ながさき しまの
創生プロジェクト

2

アジア・国際戦略

3

新幹線開業効果
拡大プロジェクト

4

健康長寿日本一
プロジェクト

5

スマート社会
実現プロジェクト

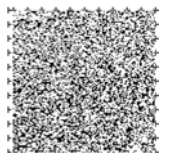
6

人材確保・定着
プロジェクト

7

災害から命を守る
プロジェクト

●印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の体系

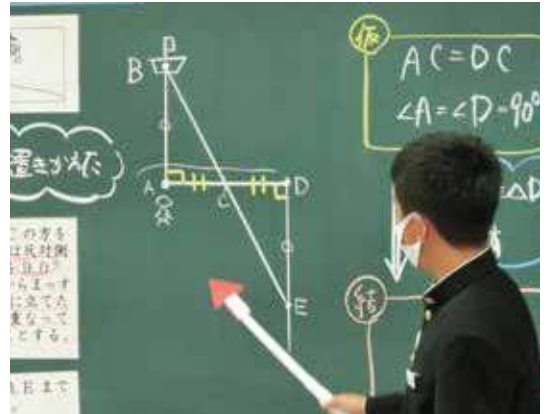


柱1

地域で活躍する人材を育て、未来を切り拓く

将来像(めざす姿)

- 県内企業において、働きやすい職場づくりが進み若者が県内で就職・定着し、活躍している。
- 移住者が増加し、地域や産業の担い手となって、地域全体を下支えしている。
- 県民が希望どおりに結婚、妊娠・出産し、安心して子育てができる社会となっている。
- 誰もが役割を持って支えあい、互いの人権が尊重され、一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていくことのできる地域共生社会が実現できている。 など



生徒の学習の様子

戦略1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る

1 将来を担う若者の就業支援と魅力的な職場づくりの促進

県内就職に対する県民の意識醸成を図るほか、県内企業と連携し、働きやすい職場づくりや情報発信に努めるなど、若者の県内就職・定着に取り組みます。



2 大学と連携した地域が求める人材の育成と地元定着の推進

県内大学や県内企業と連携し、企業を支える人材育成や若者の県内定着に取り組むとともに、県外大学等進学者のUターン就職支援を強化します。併せて、魅力ある・選ばれる県立大学づくりに取り組みます。



3 男女が性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会づくり

女性の活躍に向けた気運醸成に取り組むとともに、男女が共に、仕事と子育て、介護等が両立しやすく、職場・家庭・地域の中で活躍できる取組を推進します。



4 キャリア教育の推進と企業を支える人材の育成・確保

子どもたちの成長に応じたキャリア教育や職業体験学習に取り組み、本県の産業を支える人材を育成します。また、産学官の連携による専門人材の育成を図るとともに、プロフェッショナル人材など多様な人材の確保を促進します。



5 地域に密着した産業の担い手の確保・育成

儲かる姿や労働環境の改善等、農林水産業の魅力や就業に関する情報発信を強化し、県内外からの人材の受入態勢の充実に取り組み、地域を担う多様な人材を確保・育成します。



6 医療・介護・福祉人材の育成・確保

人口構造の変化により医療や介護を必要とする人が増加する中、誰もが安心して生活できる地域社会を構築するために、医療・介護・福祉サービスの提供体制を支える、質の高い人材の育成・確保に取り組みます。



7 外国人材の活用による産業、地域の活性化

関係機関との連携により、本県産業の担い手として期待される優秀な外国人材（県内留学生を含む）の確保に取り組むとともに、外国人材が安心して就労・生活できる受入環境の整備を推進します。



8 いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現

高齢者の社会参加や働き盛り世代の健康づくりの促進、学校体育の充実、地域スポーツの活性化等により、県民が生涯を通じて活躍できる環境整備と生涯学習の推進に取り組みます。



戦略1-2 移住対策の充実、関係人口の幅広い活用を推進する

1 ながさき暮らしUターン対策の推進

Uターン促進に向けた相談・支援体制の充実や効果的な情報発信、産業人材の視点も踏まえた支援体制の充実を図ることで、本県へのさらなる移住・定着を促進します。



2 関係人口との交流促進による地域活力の向上、移住者の裾野の拡大

都市部住民や企業等との交流機会の創出と交流促進により、市町と連携しながら関係人口の創出・拡大に取り組みます。



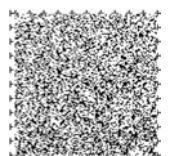
指標でみる長崎県の強みと特長①

長崎県には様々な強みや特長があります。県の政策展開にあたっては、そうした強みを活かしながら地域の活性化につなげていきたいと考えています。

改めて長崎県の良さを知ってもらおうとともに、「暮らしてみたい」「訪れてみたい」のきっかけや参考の一つとしていただくため、「全国上位」や「初」の例をご紹介します。

子ども・教育分野

- 県立大学情報セキュリティ学科（情報セキュリティに関する知識を専門に学ぶ学科の設置）
…**全国初（H28）**
- 高校生の離島留学制度…**全国初（H15）**
- 公立高等学校及び特別支援学校の耐震化率…**全国1位（R2.4.1現在）**
- 合計特殊出生率…**全国4位（R1）**



戦略1-3 長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる

1 結婚、妊娠・出産から子育てまでの一貫した支援

きめ細かな結婚支援、妊産婦や新生児の医療体制の充実、保育の担い手確保、持続可能な共働きの環境整備など、結婚から子育てまでの切れ目ない支援を行うとともに、社会全体で結婚、妊娠・出産、子育てを応援する機運の醸成を図ります。



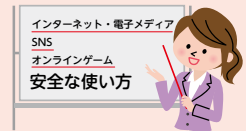
2 郷土を愛し、地域を支える心豊かな人材の育成

我が国と郷土の歴史や伝統文化についての理解を深めるとともに、ふるさとを活性化する人材を育成します。また、よりよい人間関係を形成する力や公共の精神を育むとともに創造力を豊かにします。



3 安心して子育てできる環境づくり

子どもの健やかな育ちを支えるため、県民総ぐるみで「ココロねっこ運動」に取り組むとともに、インターネット等の有害環境対策の強化や保育施設周辺道路等の交通安全対策など、子どもを取り巻く環境の安全確保に取り組みます。



4 学力の向上と一人一人に対応した教育の推進

一人一人の個性や教育ニーズに対応した質の高い教育を推進することにより、子どもたちに知識・技能、思考力・判断力・表現力等に、学びに向かう力・人間性等を含めた「確かな学力」を身に付けさせます。



5 グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり

小・中・高を通して外国語教育を計画的に推進し、高い語学力とリーダーシップを備え、グローバルな視野を持って行動できる人材の育成に取り組めます。



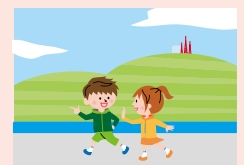
6 安全・安心が確保された教育環境の整備

学校内外の安全確保のほか、学校施設の長寿命化やバリアフリー化の推進、修学支援の充実など、子どもたちが安全に、安心して学べる教育環境の整備に取り組めます。



7 「地域みんなで子どもを育み、家庭教育を支援する」体制づくり

地域でふるさとを愛する子どもの姿を共有し、地域総がかりの子育てを推進します。



戦略1-4 みんなで支えあう地域を創る

1 誰もが安心して暮らし、社会参加できる地域共生社会の推進

- 高齢者、障害者等をはじめ、きめ細かな対応が必要な人たちへの地域での支援や見守り等の充実を図り、働く場を確保するなど社会参加を促します。また、県民への人権教育・啓発を推進します。
- NPO・ボランティア団体の人材育成などを支援し、地域課題の共有を図りながら、多様な主体による連携・協働を推進します。



2 きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援

- 児童虐待、子どもの貧困、DV、若者のひきこもりなどの解決に向け、子どもや若者、親などに対して、子どもや家庭の状況に応じたきめ細かい支援を行います。
- いじめ等を早期に解決するとともに、不登校や障害のある子どもに対するきめ細かな支援を行います。

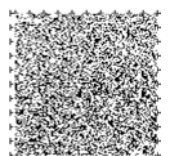
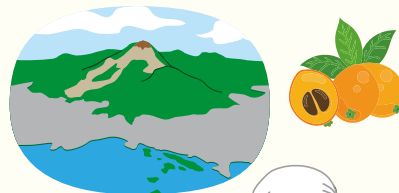


主な成果指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
県内高校生の県内就職率	61.1%(H30年度)	68.0%(R7年度)
県内大学生の県内就職率	41.0%(H30年度)	50.0%(R7年度)
県や市町の窓口を通じた移住者数	1,121人(H30年度)	3,200人(R7年度)
合計特殊出生率	1.66(R1年)	1.93(R7年)
郷土長崎への理解と愛情のある児童生徒の割合	83.5%(H30年度)	100%(R7年度)
県事業によるひとり親家庭の就職者数	59人(R1年度)	100人(R7年度)

指標でみる長崎県の強みと特長②

自然・環境、農林業、水産業分野

- しまの数…**全国1位**
- 島原半島ユネスコ世界ジオパーク (**日本最初の世界ジオパークの一つ**)
- びわ(収穫量) …**全国1位(H30)**
- くらまぐろ、うるめいわし、ぶり類等(魚種別漁獲量) …**全国1位(H30)**
- 漁業就業者数(人口千人対) …**全国1位(H30)**



柱2

力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す

将来像(めざす姿)

- オープンイノベーションの取組が活発となり、新たな基幹産業を含めた成長分野の新産業の創出・育成が進み、関連の雇用が増加している。
- 本県ならではの魅力を付加した「観光まちづくり」や、外国人、障害者、高齢者など誰もが安心して旅行を楽しむことができる環境整備が進むことで、観光客数や観光消費額が増加し、地域や観光産業が活性化している。
- スマート農林業、水産業の導入により、生産性の向上、労働環境が改善され、所得が向上することで、多くの若者から選択される産業として確立している。 など



五島市沖浮体式洋上風力発電「はえんかぜ」

戦略 2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる

1 成長分野の新産業創出・育成

- 海洋エネルギー関連、航空機関連分野における中核企業の誘致などに取り組むほか、AI・IoT・ロボット関連分野における高度専門人材の育成、ヘルスケア産業の高付加価値化などに取り組みます。
- 新たな基幹産業3分野における専門人材の育成を図ります。



2 スタートアップの創出

- CO-DEJIMAを拠点として、県内の産学官金の様々なスタートアップ支援機関との連携により、県内スタートアップの創出に向けた取組を強化します。
- 県外産業交流拠点との連携及び本県の課題解決を通じて、県外スタートアップの誘致に取り組めます。



3 製造業・サービス産業の地場企業成長促進

- 成長分野の事業拡大・生産性向上の取組を支援することにより、企業の競争力強化・付加価値向上を図るとともに、創業や企業間連携等、地域産業の活性化を支援します。
- 地域金融機関と連携して県内企業の成長を支援します。



4 戦略的、効果的な企業誘致の推進

社会経済の環境変化や企業動向を踏まえたうえで、本県の目指す成長分野を中心とした、効果的な企業誘致を推進します。



戦略 2-2 交流人口を拡大し、海外の活力を取り込む

1 地域に新たな価値を付加する魅力ある観光まちづくりの推進

魅力ある観光まちづくりの先駆的な取組や高付加価値化に取り組む観光事業者への支援、効果的な情報発信を通して、観光客の満足度向上やリピーター化を図るとともに、ユニバーサルツーリズム専用のワンストップ窓口の設置など観光客受入体制の構築を図ります。



2 県産品のブランド化と販路拡大

長崎フェア開催やアンテナショップにおける物産・観光の魅力を発信するとともに、輸出に取り組む県内企業の掘り起こし等により、県産品の輸出拡大と新規商流開拓に取り組めます。



3 アジアをはじめとした海外活力の取り込み

海外からの誘客促進等に向けて、これまでに培った歴史や文化、人とのつながりを活かしながら、国や地域ごとの特性に応じた情報発信、コンテンツの磨き上げ等に取り組めます。



戦略 2-3 環境変化に対応し、一次産業を活性化する

1 農林業の収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化

地域別・品目別の産地計画を基軸とし、農林業の生産基盤の強化や先端技術を活用したスマート農林業の普及拡大、市場との関係強化等により、「産地の維持拡大」を進め、農林業者の所得向上を図ります。



2 漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備

- 漁業生産を支える水産資源の維持・増大に取り組み、スマート水産業の推進など漁業者の経営力強化に向けた取組を推進します。
- 拠点漁港において、生産・流通基盤の強化を図り、漁港施設の有効活用や異業種との連携による浜や地域の魅力を活かした漁村づくりを推進します。

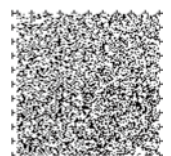


3 養殖業の成長産業化と加工・供給体制の強化

輸出など新たな需要に対応した養殖業の成長産業化を推進するとともに、「即食性」や「簡便性」といった多様な消費者ニーズに応じた商品づくりに取り組み、県産水産物の販路拡大や、高度衛生管理体制の構築等による輸出拡大を図ります。



主な成果指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
新たな基幹産業3分野における売上高	507億円(H30年)	1,210億円(R7年)
観光消費額(総額)	3,778億円(H30年)	4,137億円(R7年)
農業・林業産出額	1,574億円(H30年)	1,804億円(R7年)
海面漁業産出額	636億円(H30年)	660億円(R7年)



夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る

将来像(めざす姿)

- 安定した行財政基盤のもと市町の行政サービスが提供され、地域活動を行う多様な主体が支えあい、人口減少に対応できる持続可能な地域社会づくりが進んでいる。
- 九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)の開業により、交流人口の拡大等が図られ、地域が活性化している。
- IR整備により、成長・発展の著しいアジア地域を中心に世界中から今までにない人の流れを生み出すことで、交流人口の拡大による観光・地域経済の活性化、良質な雇用の創出の好循環が生まれている。
- 県民一人一人の自主防犯意識や交通安全意識の高揚が図られ、県民が安全に安心して暮らしている。 など

「増収4,200億円達成目標」
九州新幹線西九州ルート
(武雄～長崎線区)



西九州ルート開業PRキャッチコピー&ロゴマーク



新幹線「かもめ」

戦略 3-1 人口減少に対応できる持続可能な地域を創る

1 地域活動を行う多様な主体が支えあう、持続可能な地域づくりの推進

- 地域住民やNPOなど多様な主体の連携により、集落や地域コミュニティの維持・活性化や環境保全活動を推進します。
- 連携中枢都市圏等の地域間連携等を支援します。



2 地域の活力と魅力にあふれる農山漁村づくり

- 地域ビジネスの展開による雇用の創出、営農体系の確立等集落ぐるみでの受入態勢を整備し、集落の魅力や生活環境を発信することで、移住・定住を促進します。
- 農山漁村集落と都市部の住民、企業等との協働や連携による棚田、里山、里海など農山漁村資源の維持保全活動を推進します。



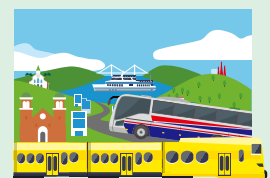
3 地域の医療、介護等のサービス確保

- 地域包括ケアシステムの構築に向け多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供することが期待されている総合診療専門医の養成・確保に取り組みます。また、高齢者の生活支援体制の強化や障害福祉サービス等の提供体制の充実を図ります。
- 専門的知見を有する大学や関係機関等と連携しながら地域医療体制の整備に取り組みます。



4 離島・半島等のくらしと交流を支える地域公共交通の確保

各交通モードに対し経営安定化のための支援を実施するとともに、市町の観光振興やまちづくりなどの地域戦略と一体となった交通ネットワークの確立に取り組み、地域公共交通の維持・確保に努めます。



5 ICTを活用した地域活性化と行政運営の効率化

- 本県におけるSociety5.0の実現に向け、産学官による推進体制を構築のうえ、Society5.0に対応したサービス提供・活用の推進や地域課題解決、県内産業の育成・強化を進めます。
- ICTの利活用に必要不可欠な情報通信基盤（5G等）の整備を促進します。
- 行政へAIやRPA等の導入を推進します。



6 持続可能なインフラの整備及び利活用

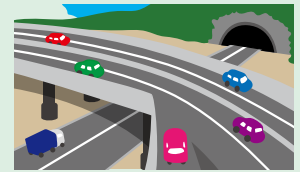
インフラの老朽化による事故を未然に防止するため、新技術等を活用し、より戦略的な維持管理と老朽化対策を実施します。



戦略 3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る

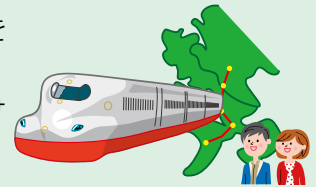
1 人流・物流を支える交通ネットワークの確立

高規格幹線道路・地域高規格道路等の整備や国内外との交流の拠点となる港湾の整備、航空路線の拡充と長崎空港の運用時間延長など、人流や物流を支える交通ネットワークの確立に取り組みます。



2 九州新幹線西九州ルート（武雄温泉～長崎）の整備と開業効果の拡大

- 九州新幹線西九州ルート（武雄温泉～長崎）の令和4年秋の着実な開業を目指します。
- 地域の魅力づくりや既存観光資源の磨き上げなどの受入体制の構築に向けた取組を行います。
- 新鳥栖～武雄温泉間のフル規格整備の早期実現に向けた取組を行います。



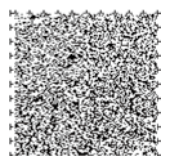
3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり

- 観光需要が急速に拡大するアジアに最も近いという本県の強みを活かし、特定複合観光施設（IR）区域の整備を目指すとともに、本県を訪れた方の周遊を促すよう交通アクセスの強化を図ります。
- 九州新幹線西九州ルート開業後のまちづくりを見据えて、都市の再生や景観形成を推進します。
- 県庁舎跡地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創設や効果的な運営の仕組みづくりを進めます。



4 しまや半島など地域活性化の推進

- 離島や半島などの地域が有する豊かな自然や歴史、文化などの資源を活かし、産業振興や交流人口の拡大等による地域活性化を推進します。
- 長崎を特徴づける国立公園・ジオパーク等の自然を地域資源として活用します。



5 特色ある文化資源・スポーツによる地域活性化

- 歴史や文化芸術による地域づくりやそれを担う人材の育成、文化資源を活用した地域の取組を支援します。
- V・ファーレン長崎との連携による地域活性化や、スポーツを通じた国際交流の推進に努めます。



6 国際交流と平和発信の推進

- これまでに培った人のつながりなどを活かし友好都市との交流を拡大するとともに、市町や関係団体等と連携し地域における幅広い分野での交流を推進します。
- 原爆の悲惨さや非人道性を世界に向けて発信するとともに、被爆体験の継承、平和意識の醸成に取り組みます。



戦略 3-3 安全安心で快適な地域を創る

1 犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進

地域住民、事業者、警察、行政等が一体となって、地域安全活動、各種犯罪対策、交通安全対策等を推進し、犯罪が起きにくく交通事故の少ないまちづくりに取り組みます。



2 食品の安全・安心の確保と消費生活の安定・向上

- 食中毒の防止対策に取り組むとともに、食品の安全・安心に関する正確でわかりやすい情報を発信します。
- 行政、地域等が連携して、高齢者等をターゲットに悪質・巧妙化する消費者トラブルの防止や被害の救済等に取り組みます。



3 災害に強く、命を守る強靱な地域づくり

- 自然災害に備えた施設整備を推進するとともに、警戒避難体制の構築、イベント等を通じた防災意識の向上等に取り組みます。
- 消防団員の確保と消防団の円滑かつ的確な活動を推進します。



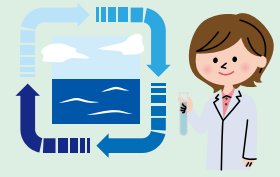
防犯パレード



長崎市消防団

4 豊かできれいな海づくり、くらしやすい環境づくりの推進

- 大村湾や諫早湾干拓調整池の水質改善を図ります。
- 海域や河川などの水質保全による生活環境の向上を図ります。
- 廃棄物の4R と適正処理を推進します。
- 長崎県海岸漂着物対策推進計画に基づき、回収処理、発生抑制対策を推進します。



5 脱炭素社会の実現を目指した快適なライフスタイルの普及

環境と経済成長との好循環を意識しながら、県民、事業者、行政等が連携・協力し、地球温暖化防止活動を実践するとともに、気候変動（地球温暖化）による影響を予防・軽減するための適応策を普及促進します。



6 人と自然が共生する持続可能な地域づくり

- 県民とともに長崎県を特徴づける多様な自然、生きものの保全を図ります。
- 多様なニーズに対応した自然体験情報の発信、豊かな自然とふれあえる空間づくりを進めます。



主な成果指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
持続可能な地域づくりに取り組む地域(団体)数	74団体(H30 年度)	250団体(R7年度)
九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)の開業	—	開業(R4年度)
過疎地域等の人口減少率(社会減)	3.0% (H27～R1年減少率)	2.1%未満 (R3～R7年減少率)
刑法犯認知件数(全国トップレベルの治安水準の維持)	3,394件(R1年)	減少傾向の維持(R7年)
風水害・地震などによる死者数	0人(R1年度)	0人(R7年度)

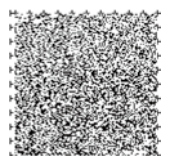
指標でみる長崎県の強みと特長③

文化・観光・産業分野

- 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 (日本唯一のキリスト教関連の世界遺産)
- 海洋エネルギー関連産業に係る促進区域の指定(海域) …**全国初**

安全・安心、医療・福祉分野

- 運転席シートベルト着用率(一般道、高速道路) …**全国1位(R1)**
- 感染症専門医数(人口10万対) …**全国1位(R2)**
- 看護師数(人口10万対) …**全国4位(H30)**



政策横断プロジェクト ～長崎県の強みや取り巻く情勢

ながさき しまの創生プロジェクト

【将来像】

本県離島地域において、全国のモデルとなるような地方創生の成功事例が数多く創出され、全国の離島地域や、県内の他地域に先行して社会減が大きく改善し、人口減少に歯止めがかかっている。

【主な取組】

- 国境離島交付金等の活用による各しまの特色を活かした良質で安定した雇用の場の創出
- しまの若者の地元定着やUI ターン者の拡大に資する島内企業の人材確保の促進
- 住民の航路・航空路運賃の低廉化と農林水産品等の輸送コストへの支援



アジア・国際戦略

【将来像】

- 本県ならではの歴史・文化や世界遺産等の価値が認知され、アジア諸国を中心に、海外での本県のプレゼンスが向上している。
- 県産品のブランド化や輸出拡大、新たな販路開拓が進み、生産者の所得が向上している。

【主な取組】

- 市場分析に基づいた観光コンテンツの磨き上げや受入環境の整備、戦略的な情報発信の強化
- 新たに輸出に取り組む県内企業の掘り起こしと関係団体との連携による輸出相談体制の確立
- 市町等と連携した多文化共生の推進



新幹線開業効果拡大プロジェクト

【将来像】

- 各地域で開業に向けた魅力づくりや観光資源の磨き上げなどの受入体制の構築が進んでいる。
- 九州のみならず、中国・関西方面との交流人口が拡大し、観光をはじめ様々な産業が活気づくとともに、新たな雇用が生まれ、人や地域が今以上に元気になっている。

【主な取組】

- 地域の魅力づくりや既存観光資源の磨き上げなどの受入体制の構築に向けた地域の取組への支援
- 心のこもったおもてなしなどの受入体制の構築に向けた地域の取組への支援
- 地域の特産品や工芸品等を活用した新商品開発などの取組への支援



健康長寿日本一プロジェクト

【将来像】

- 県民が健康で長生きできる環境が守られ、健康寿命が延伸し、生涯現役社会となっている。
- スポーツを通じた県民の健康増進が実現している。
- 県民が生きる喜びや張り合いなど生きがいを感じ、積極的に地域社会に参画している。

【主な取組】

- ユニバーサルツーリズムの推進による県民を含む高齢者等の健康づくりの推進
- 大学と連携した若者世代への食育推進事業
- 高齢者の元気で生きがいのある暮らしと社会参加の促進



を踏まえた長崎ならではの戦略的な取組を横断的に展開～

スマート社会実現プロジェクト

【将来像】

- 超高速・大容量通信を実現する第5世代移動通信システム(5G)などの次世代通信環境が県内で整備されている。
- 地理的・地勢的な条件不利を感じることなく、県民が、豊かで質の高い生活を送ることができている。

【主な取組】

- 光ファイバの他、5Gなどの次世代の情報通信基盤の整備促進
- AI・IoT・ロボット、5G、ドローンなどを活用した新産業・新サービス創出
- スマート自治体への転換



人材確保・定着プロジェクト

【将来像】

- 処遇改善や人材育成を含め、魅力的で良質な雇用・就業の場が拡大している。
- 産学官の連携が更に強化され、県内定着が進んでいる。
- 県内で育成された人材が県内の様々な産業を担い活躍し、県内産業が活性化している。

【主な取組】

- 郷土長崎に愛情と誇りをもち、地域を担おうとする人材を育むふるさと教育の推進
- 移住サポートセンター等を通じた移住希望者支援
- 友好交流関係国等との連携等による外国人材確保
- 雇用・就業環境の改善



災害から命を守るプロジェクト

【将来像】

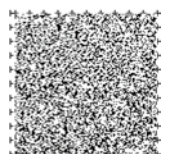
- 「公助」だけでなく、食料の備蓄等による「自助」とともに、近所の人と助け合う等の「共助」による事前防災の意識の向上と、安全確実な避難行動の実践。
- 災害に強い社会基盤の整備充実や自然災害に対するハード対策とソフト対策の一体的な推進、インフラの戦略的な維持管理・更新等の実現により安全・安心が確保されている。

【主な取組】

- ハザードマップの作成、災害情報の伝達、リアルタイムの雨量・河川水位の情報提供など、警戒避難体制構築を推進
- 災害に強い社会基盤や自然災害に備えた施設の充実
- 消防、警察、自衛隊等、災害対策本部の体制、装備、訓練の強化



主な数値目標 (R7年目標値)		健康長寿日本一プロジェクト	健康寿命の延伸 男73.71年 女76.82年
ながさき しまの創生プロジェクト	しまの人口の社会増減数 △102人	スマート社会実現プロジェクト	実用化された、ICTを活用したサービスや仕組みの数(累計) 15件
アジア・国際戦略	外国人延べ宿泊者数 125 万人	人材確保・定着プロジェクト	県内高校生の県内就職率 68.0%
新幹線開業効果拡大プロジェクト	JRによる府県相互間旅客輸送人員 基準値(R3年度実績)+15%	災害から命を守るプロジェクト	風水害・地震などによる 死者数 0人



地域別計画

各地域の特色ある地域資源や特性を活かした地域主体の地域づくりを進め、地域活性化につなげるため、今後の地域づくりの指針として、地域の特徴的な取組の方向性を示す地域別計画を策定しました。

対馬地域【対馬市】

【地域のめざす姿】

大自然の恵みや大陸との交流の歴史など、対馬特有の財産を活かした産業活性化により地域経済がうまく循環し、全ての島民が安心して暮らし続けることができる自立したしま



【地域づくりの方向性】

- ①産業振興と担い手育成の好循環による活力あふれる持続可能なしまづくり
- ②日本文化の源流ともいえる対馬の財産（文化・自然）を活かした魅力あるしまづくり
- ③対馬の豊かな自然環境との調和を図りつつ、島民の安全・安心な暮らしを支えるしまづくり

指標	基準値（基準年）	目標値（目標年）
人口の社会増減数	▲360人(R1年)	▲34人(R7年)
第1次産業新規就業者数	79人(H30年度)	467人(R3～R7年度累計)
国内外観光客実数	537,122人(H30年)	600,000人(R7年)

壱岐地域【壱岐市】

【地域のめざす姿】

誰一人取り残さない。協働のまちづくり。
人口が減少しても、持続可能で豊かに暮らせる社会をつくる。



【地域づくりの方向性】

- ①地域コミュニティが守られ、安心して暮らし続けることができるしまづくり
- ②希望の仕事があり、安心して働きつづけることができる持続可能で豊かなしまづくり
- ③壱岐への新しい人の流れを創出し、地域を支える人材を育てる

指標	基準値（基準年）	目標値（目標年）
人口の社会増減数	▲80人(R1年)	▲23人(R7年)
第1次産業新規就業者数	35人(H30年度)	179人(R3～R7年度累計)
まちづくり協議会設置件数	3団体(R1年度)	18団体(R7年度)

五島地域【五島市、新上五島町、(小値賀町)】

【地域のめざす姿】

しまの内外で人・モノの交流が活発に行われ、椿や世界遺産をはじめとする優れた地域資源を活かした産業振興・観光振興や地域コミュニティの活性化等の各分野で多様な人材が活躍する五島列島

【地域づくりの方向性】

- ①世界遺産等の地域資源を活かした交流でにぎわうしまづくり
- ②地域が支えあい、愛着と誇りを持って住み続けられるしまづくり
- ③五島列島の優れた地域資源を活かした産業振興と雇用の創出
- ④五島列島の今を支える人、未来を担う人を育むしまづくり

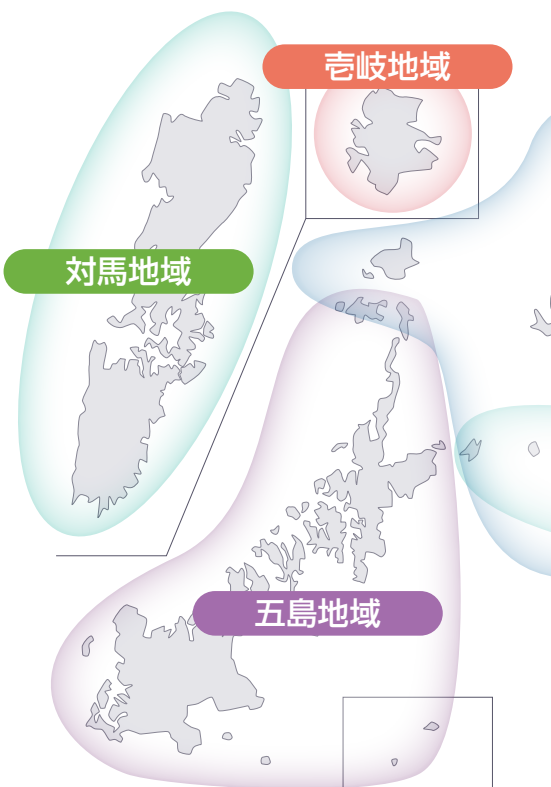


指標	基準値（基準年）	目標値（目標年）
人口の社会増減数	▲178人(R1年)	▲45人(R7年)
第1次産業新規就業者数	81人(H30年度)	414人(R3～R7年度累計)
観光消費額（総額）	132億円(H30年)	138億円(R7年)

対馬地域

壱岐地域

五島地域



長崎・西彼地域【長崎市、

【地域のめざす姿】

新幹線開業を契機とし、長崎駅周辺部都市・産業の集積地に相応しい都市の”長崎・西彼地域

【地域づくりの方向性】

- ①九州新幹線西九州ルートの開業を活か
- ②観光産業や造船業などの基幹産業のさ
- ③未来を切り拓く若者定着と持続可能な

指標	
観光消費額（総額）	
製造業従事者一人あたり付加価値額	
第1次産業新規就業者数	

県北地域【佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町】

【地域のめざす姿】

西九州自動車道や国際クルーズ拠点等を活かし、西九州の玄関口として多くの人や物の流れを取り込み、多様な産業が発展する活力ある県北地域



【地域づくりの方向性】

- ① 県北地域特有の機会や特性を活かした賑わいあふれるまちづくり
- ② 県北地域の優れた資源の活用による産業の強化と新産業の創出
- ③ 互いに支えあい、誰もが安心して生き生きと暮らせる持続可能な地域づくり

指標	基準値（基準年）	目標値（目標年）
観光消費額（総額）	1,370億円（H30年）	1,460億円（R7年）
製造業従事者一人あたり付加価値額	7,673千円（H30年）	8,057千円（R7年）
第1次産業新規就業者数	143人（H30年度）	937人（R3～R7年度累計）

県央地域【諫早市、大村市、（東彼杵町）、（川棚町）、（波佐見町）】

【地域のめざす姿】

新幹線開業を活かした魅力あるまちづくりによる賑わいの創出を目指し、力強い産業と雇用をつくり出し誰もが住みやすく活力にあふれる県央地域

【地域づくりの方向性】

- ① 九州新幹線西九州ルート（武雄温泉～長崎）の開業を活かした魅力あふれるまちづくり
- ② 県央の強みを活かした力強い産業づくり
- ③ 県央の未来を担う多様な人材が活躍する地域づくり
- ④ 県央の特性を活かした住みやすく、いきいきと暮らせるまちづくり



指標	基準値（基準年）	目標値（目標年）
製造業従事者一人あたり付加価値額	21,907千円（H30年）	23,002千円（R7年）
第1次産業新規就業者数	136人（H30年度）	707人（R3～R7年度累計）
スポーツ合宿参加者数	748人（H30年度）	984人（R7年度）

島原半島地域【島原市、雲仙市、南島原市】

【地域のめざす姿】

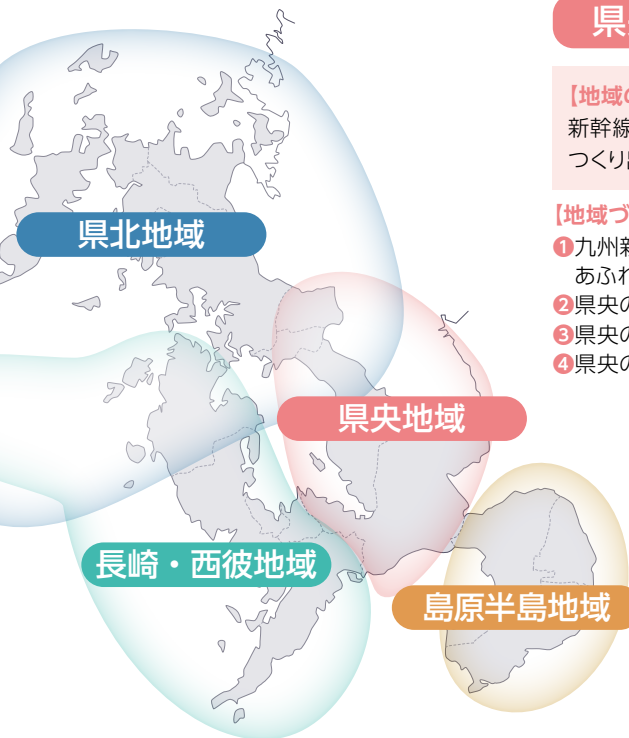
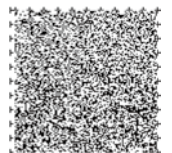
魅力ある地域資源を活かして、国内外から人を呼び込み、賑わいにあふれ、農業や観光業などの地域産業が力強く発展し、若者から高齢者まで、住民が安心して生き生きと暮らす活気あふれる島原半島



【地域づくりの方向性】

- ① 若者が定着し、多様な人材が活躍する地域づくり
- ② 島原半島の強みを活かした力強い産業づくり
- ③ 魅力ある地域資源を活かして人を呼び込み、賑わいあふれる地域づくり
- ④ 住民が安心して、支えあいながら生き生きと暮らせる地域づくり

指標	基準値（基準年）	目標値（目標年）
第1次産業新規就業者数	200人（H30年度）	1,129人（R3～R7年度累計）
農業所得1,000万円以上が可能となる経営規模に達した経営体数（経営体）	234経営体（R1年度）	532経営体（R7年度）
観光消費額（総額）	384億円（H30年）	398億円（R7年）



長与町、時津町、（西海市）

を中心に都市機能の基盤強化が図られるとともに、観光活力が周辺都市にも波及し、“若い世代を中心に選ばれ

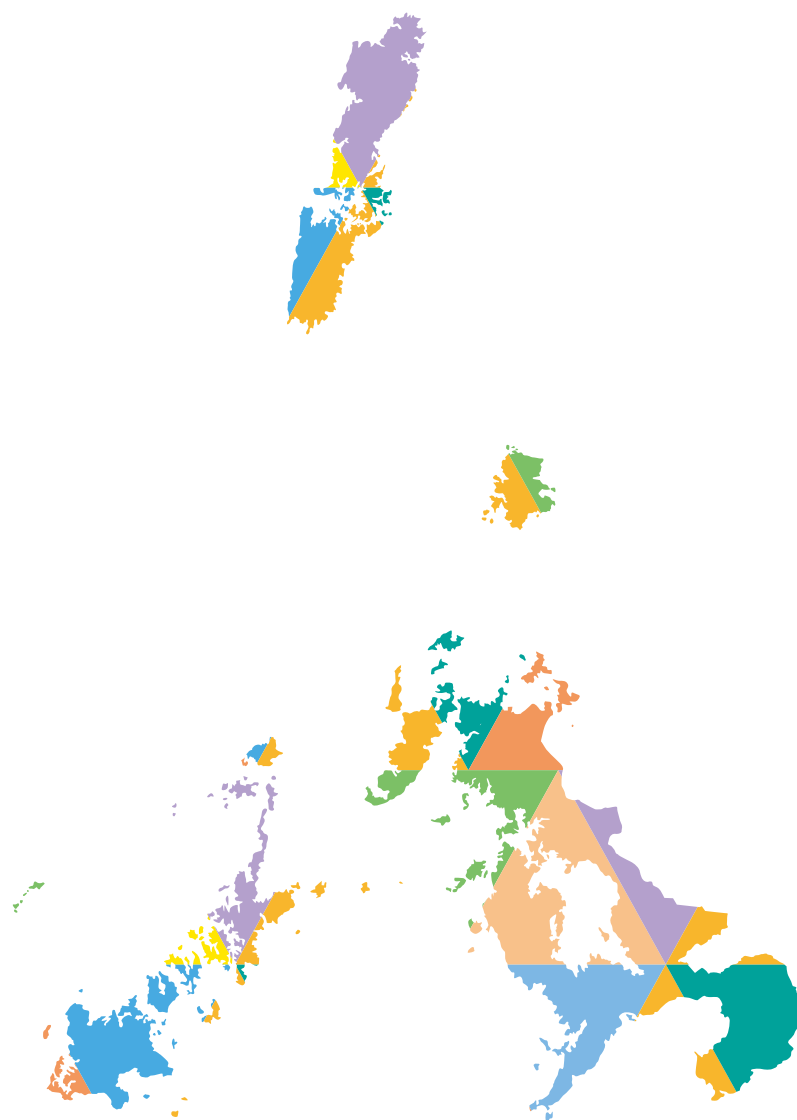
た都市機能の充実
らなる発展と新規産業への展開
まちづくり



提供：鉄道・運輸機構

基準値（基準年）	目標値（目標年）
1,507億円（H30年）	1,747億円（R7年）
16,452千円（H30年）	17,275千円（R7年）
68人（H30年度）	382人（R3～R7年度累計）

Change & Challenge 2025



編集・発行 長崎県企画部政策企画課
〒850-8570 長崎市尾上町3番1号 TEL.095-824-1111(代)
<https://www.pref.nagasaki.jp/>

「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」の全文については、県のホームページに掲載しています。

この概要版には、音声コードとコードの位置認識のため、切り込みを入れています。
スマホ用音声コードリーダーアプリ(Uni-Voice Blind)で音声情報を聞くことができます。